

紀の国森づくり基金

未来へつなごう
わかやまの森林

森林は私たちに たくさんの 恵みを与えて くれます。

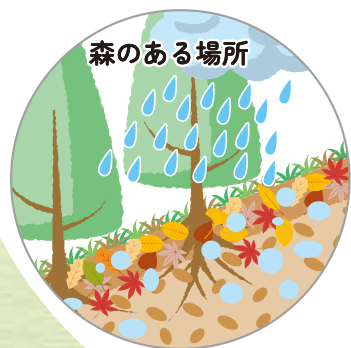
土砂の流出を抑えます

樹木の根、地表を覆う落葉や下草などは、
降雨による土砂の流出や崩壊を防止します。



洪水や^{かつすい}渇水を緩和します

樹木や下草が生育する森林では、土壌動物の活動などにより、雨水はすみやかに地中に浸透し貯留されます。その後、ゆっくりと河川に流れるため、洪水や渇水が緩和されます。



地球温暖化防止への 貢献が期待されます

樹木は光合成によって、地球温暖化の主な原因である大気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を放出しながら炭素を貯え成長します。



森林はたくさんの
役割を担っているんだね！



紀の国森づくり大使
キノピー

多種多様な生物に 生きる場所を提供します

多様な森林環境は、さまざまな動植物に
生息・生育の場を提供しています。



ふるさと の森林が 果たしている役割

きれいな水をつくります

雨水が地中に浸透する過程で、水をろ過したり化学物質を吸い取って水を浄化します。
森林が生み出す水は汚れが少なく、岩石の間を通ることによりミネラルを含みます。



リラックス効果により 人々を癒します

美しい景観、川のせせらぎや小鳥のさえずり、
すがすがしい香り、木の実やきのこなどを楽し
むことができ、私たちの五感を通じて心身を癒
してくれます。



紀の国森づくり基金ができるまで。

森林を県民の財産として守り育て、次の世代に引き継いでいくことを目的とした、議員提案による「紀の国森づくり税条例」及び「紀の国森づくり基金条例」が、2005(平成17)年12月県議会で成立しました。

条例では、「紀の国森づくり税」の収入は「紀の国森づくり基金」に積み立てられ、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策に取り組むことになっています。

県では、2つの条例が2007(平成19)年4月1日から施行されたことにともない、2007(平成19)年度から「紀の国森づくり基金活用事業」を実施しています。

なお、「紀の国森づくり税条例」については、2022(令和4)年4月1日から5年間延長されました。



県民の皆さまの支えで積み立てられています。

県民税均等割額に下記の額を「紀の国森づくり税」として加算して納めていただきます。

Q. 所得が無い人にも課税されるのですか？

A. いいえ。
所得が無い人、所得が一定の基準以下の人など、県民税均等割が課税されていない人には課税されません。

Q. 税が他の用途に使われることはないのですか？

A. ありません。
税の用途を「森林を県民の財産として守り育て、次の世代に引き継いでいくことを目的として、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策(活用事業)」に限定して使います。その選別は、県民の代表や学識経験者等で構成される「紀の国森づくり基金運営委員会」が調査・審議します。

紀の国森づくり税条例（抜粋）

（趣旨）第1条 この条例は、水源のかん養、県土の保全等の公益的機能を有する森林から全ての県民が恩恵を受けているとの認識に立ち、森林を県民の財産として守り育て、次の世代に引き継いでいくことを目的として、県民の理解と協力のもと、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策に要する経費の財源を確保するため、和歌山県税条例(昭和25年和歌山県条例第37号)で定める県民税の均等割の税率の特例として課する紀の国森づくり税に関し必要な事項を定めるものとする。

紀の国森づくり基金条例（抜粋）

（趣旨）第1条 水源のかん養、県土の保全等の公益的機能を有する森林からすべての県民が恩恵を受けているとの認識に立ち、森林を県民の財産として守り育て、次の世代に引き継いでいくことを目的として、県民の理解と協力のもと、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策に取り組むため、紀の国森づくり基金を設置する。

■ 個人…年額 500 円

県内に住所がある方、県内に事務所、事業所または家屋敷を持っている方
※所得が一定の基準以下などで県民税均等割が課税されていない方は、非課税。
(非課税の例)
●生活保護法による生活扶助を受けている方
●障害者、未成年者、寡婦又はひとり親で前年の合計所得金額が135万円以下の方
●前年の合計所得金額が市町村の条例で定める金額以下の方

■ 法人…均等割額の 5%

県内に事務所、事業所を持っている法人

資本金等の額	年税額
50億円超	40,000円
10億円超～50億円以下	27,000円
1億円超～10億円以下	6,500円
1千万円超～1億円以下	2,500円
1千万円以下	1,000円

「紀の国森づくり基金」の概要と活用事業

先人から引き継いだ森林を県民の財産として守り育て、次の世代に引き継いでいくことを目的とし、2007(平成19)年度に創設されたのが「紀の国森づくり基金」です。

基金は「紀の国森づくり税」を財源とし、県民の理解と協力のもと「紀の国森づくり基金活用事業」として、“森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策”に活用しています。

これらの取組は、県民の代表や学識経験者等からなる運営委員会において調査・審議され、「紀の国森づくり基金条例(P4参照)」の趣旨に沿った取組のみ事業として実施しています。初年度から5年毎を一期とし、2022(令和4)年度から第4期を開始しています。なお、これまで実施してきた「公募事業」は2025(令和7)年度から「県が取り組む施策」に統合しました。



※公募事業は2024(令和6)年度で終了しました。

紀の国森づくり基金活用事業の紹介

県内の森林が直面する課題に沿った事業を実施しています。

- 【第1期】2007(平成19)～2011(平成23)年度
- 【第2期】2012(平成24)～2016(平成28)年度
- 【第3期】2017(平成29)～2021(令和3)年度
- 【第4期】2022(令和4)～**実施中**～2026(令和8)年度



人工林の広葉樹林化

補助対象：森林所有者、林業事業者等
補助対象経費：広葉樹等の植栽苗木に要する経費等(定額)

生育不良の人工林や台風などの被害に遭った森林を広葉樹林に転換することで、森林の持つ公益的機能の高度発揮を目指します。



生育不良の人工林



広葉樹林化のイメージ

紀州材公共施設木造木質化モデル

補助対象：市町村
補助対象経費：モデル的な公共施設の木造化、木質化及び木製品整備に要する経費等(自己負担分の1/2以内)

和歌山県で生産・加工された良質な木材「紀州材」により、木造・木質化されたモデル的な公共施設を増やすことで、環境・人にやさしい木材の良さを広くPRするとともに、木材利用の意義や森林保全の意識を高める取組を行っています。



保育所での活用事例(有田市)



小学校での活用事例(広川町)



道の駅での活用事例(海南市)



多目的交流施設での活用事例(太地町)

花粉症対策母樹園整備

国民の約4割が罹患している花粉症への対策として、花粉の少ない苗木供給の拡大を図るため、効率的な種子生産が可能な採種園を整備しています。



ビニールハウス型採種園



少花粉スギミニチュア採種園

花粉症対策加速化

補助対象：森林所有者、林業事業者等
補助対象経費：花粉症対策苗木の植栽に要する経費等(定額)

花粉症への対策として、花粉発生源の植替えを加速化させ、花粉発生量の抑制を図るため、花粉の少ない苗木による植栽を支援します。



通常の花粉飛散のイメージ



花粉の少ない苗木による植替えのイメージ



紀の国緑育推進(指導者育成)

紀の国緑育推進事業(P11参照)において、県内の小学校等で森林や林業についての専門的な知識や技術を子供たちに教える指導者に対し、プログラムの組み立て方や指導方法を学ぶための研修を実施しています。



学んだ指導方法を実践する受講者

森林被害調査

近年、和歌山県内においてニホンジカの個体数が急激に増加し、森林における食害や剥皮被害が発生しています、そこで、造林地等の森林被害調査や生息密度調査を実施し、野生鳥獣と共存できる総合的な保護管理方法などの検討を行っています。



ニホンジカの群れ(湯浅町)



ヒノキ根系樹皮剥ぎ(護摩壇山)



糞粒調査

 森林公的管理

補助対象：市町村
補助対象経費：貴重な自然生態系を持つ森林等の購入に要する経費(自己負担分の10/10以内)

貴重な自然生態系を持つ森林、景観保全上重要な森林、公益的機能が高い天然林を県民共有の財産として保全するため、公有林化しています。



小森川上流部の滝



有田川周辺の森林(串本町)



ブナの大木(護摩壇山)

 木の良さPR



自然景観と調和し、木材特有のぬくもりを感じられる木製ガードレールを多くの観光客が通行する県道沿いに設置し、木の良さをPRしています。
また、和歌山県で生産・加工された「紀州材」を使用することで、二酸化炭素の固定等の環境保全に寄与するとともに、地場産業の活性化につながります。



木製看板



白浜町内に設置された木製ガードレール



色々なところに
木材が使われて
いるんだね。



 森林景観づくり

補助対象：市町村、県民等(苗木無償配布)
補助対象経費：病害虫防除に要する経費(自己負担分の1/3以内)

和歌山県の気候風土の中で育ってきた「ふるさとの森」を健全な状態で未来に引き継ぐため、県民参加による植樹活動等に活用する郷土樹種の育成や、苗木の無償配布を行っています。
また、郷土樹種を加害する森林病害虫の防除を行っています。



無償配布される苗木



ウバメガシ(郷土樹種)の苗木

ウバメガシは
和歌山の県木
なんだよ！



 ごまさんふれあい再生の森



護摩壇山には、貴重なブナ林を主体とする落葉広葉樹が広がっており、四季折々の森林の姿は、一年を通じて楽しむことができます。しかし、森林の中に入ると、ニホンジカの食害等により下層の植生が失われているところが多く見受けられ、土壌の流出や次世代を担う樹木の消失などが懸念されています。
そこで、人工林を間伐して広葉樹林化を促進するなどの整備を行ったり、次世代を担う子供たちを対象に、護摩壇山森林公園で森林体験学習を実施し、現状を学んでもらっています。

護摩壇山森林公園で
豊かな自然を
楽しむことができるよ。



みんなで
貴重な森林を
守り育てよう！



間伐による針広混交林化



護摩壇山森林公園での森林学習



針広混交林への誘導試験

 県民参加の森づくり

地域特性に応じた森づくりの実践のため、地域住民参加型の森づくりや森林公園等の整備に取り組んでいます。
2025(令和7)年度から市町村民の森と公募事業で実施してきた森づくりを統合しています。



間伐した木の利用



植栽活動



 未来を彩る花の森づくり

補助対象：県内に事業所を有する法人、その他団体
補助対象経費：植樹に必要な用具器具・苗木に要する資材費及び整地・歩道整備に要する工事請負費等(自己負担分の10/10以内)

県内外から多くの人々が訪れる“未来の景観資産”となる花の名所づくりに取り組み、地域活性化に繋げる活動を支援します。



植樹の様子



竹林対策

補助対象：市町村、林業事業者等
補助対象経費：竹林の伐採、薬剤散布及び広葉樹の植栽に要する経費等(定額)

里山は、主に薪炭林として人間の生活と密接に関わり、昔から活用されてきました。これにより、里山は整備され、健全な森林として存続してきましたが、薪炭の需要が少なくなった現在では、放置され、竹林が拡大するなどの荒廃が進んでいます。このようなことから、竹林を伐採し、里山本来の姿に戻すことを目的として竹林整備を実施しています。



整備前



整備後

竹の生長は早いから、適切な管理が必要だよ。



健全な里山づくり

補助対象：市町村、森林所有者、林業事業者等
補助対象経費：森林病虫害まん延防止のための伐採、粘着シートの設置及び薬剤樹幹注入に要する経費等(定額)

利用されなくなり荒廃した里山では、ナラ枯れの原因となるカシノナガキクイムシ等による病虫害が発生しやすくなり、枯損木による景観の悪化や倒木等の危険性が高まります。

このようなことから、枯損木の伐倒駆除等により病虫害の拡大を防止し、健全な里山づくりに取り組んでいます。



カシノナガキクイムシの被害



茶色く色褪せたナラ枯れの状態



わかやま森林と樹木の日

和歌山県では、2011(平成23)年田辺市新庄総合公園で行われた「第62回全国植樹祭」を契機に、「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」を制定し、5月22日を「わかやま森林と樹木の日」と定め、2012(平成24)年度から紀の国森づくり基金を活用して記念式典を開催しています。

式典では、森林や樹木を守り、または育てる活動について、特に顕著な功績があると認められる個人もしくは団体を顕彰する「和歌山県緑化功労賞」の表彰を行っています。



記念植樹



表彰式



紀の国緑育推進

補助対象：学校、市町村、団体等
補助対象経費：森林体験・森林学習における指導委託、車両及び会場の借り上げに要する使用・賃借料及び木工用の材料に要する経費等(10/10以内)

森林や林業に触れてもらう機会を増やし、森林体験等を通して和歌山県の森林や林業、環境問題への関心の向上や森林を守り育てる意識の醸成に取り組んでいます。また、2025(令和7)年度からは公募事業で実施してきた森林教育を統合しています。

森林・林業の大切さを、次世代を担う子供たちに伝えています。



屋外学習



間伐体験



木工体験



丸太切り体験



林業現場見学



木材市場見学



製材所見学



屋内学習

この他にも…
○山で素材を採取するところから始める森林クラフトづくり
○紀州備長炭の炭焼き体験(窯出し、備長炭の風鈴づくり)
○シイタケなどのキノコの栽培体験
○森の観察会(森の中と外の気温の違いを調べたり、植物について調べたり…)等々

News

第49回全国育樹祭(令和8年秋開催)

●全国育樹祭とは？

継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、毎年秋季に行われている全国行事です。和歌山県では令和8年の開催を予定しており、平成23年の全国植樹祭において当時の天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を、皇族殿下がお手入れされます。また、緑化功労者等を表彰する式典行事やみどりの少年団活動発表大会等の併催行事も行われます。

【令和6年に福井県で開催された全国育樹祭】



●開催場所は？

- お手入れ会場：新庄総合公園(田辺市)
- 式典会場：白浜会館(白浜町)

【平成23年に和歌山県で開催された全国植樹祭】



●開催理念は？

- ① 守り、次の世代へつなぐ！
- ② 育み、木を活かす！
- ③ 共に考え、行動する！



●大会テーマ・ポスター・シンボルマークは？

『育てて使おう 地球に優しい 緑の資源』



シンボルマーク
『キノピー』



第62回全国植樹祭のシンボルマーク「キノピー」を引き続き起用し、スコップとコンテナ苗を持たせた全国育樹祭用のデザイン

●1年前のキックオフイベントは？

令和7年秋に全国育樹祭1年前キックオフイベントとして『国民参加の森林づくりシンポジウム』を開催予定!!

最新情報は公式アカウントLINEをチェック!!





公募事業

※公募事業は2024(令和6)年度で終了しました。

森林環境の保全や森林と共生する文化の創造のため、県民が自ら企画・実施する、森林を守り育てる活動や森林への理解が深まる活動等に対して支援を行っています。

たくさんの応募
ありがとう



2023(令和5)年度紀の国森づくり基金活用事業(公募事業)の実績



海草

わかやま木育キャラバン実行委員会

木の国わかやま
木育キャラバン in 和歌山



那賀

球星クラブ

森林や自然とふれあい
体験・学習する会





伊都

一般社団法人 紀の国森社中

森であそぶ子どもたち、
里山でまなぶわくわく体験



西牟婁

公益財団法人 南方熊楠記念館

南方熊楠からまなぶ森と生物



西牟婁

NPO 法人 つれもてネット南紀熊野

みんなで山を使い倒そう
／森づかい塾



東牟婁

紀南木材新緑會

紀の国森林・林業に感謝し親しむ
出張木工教室と親子木工教室



東牟婁

熊野森林学習推進協会

世界遺産熊野の森 ing 事業



東牟婁

特定非営利活動法人 和歌山芸術文化支援協会

「森のちからXIV・森の時間」





森林機能回復緊急間伐

2021(令和3)年度にて終了

放置すると危険度が高まる集落周辺の未整備森林について、山地災害等に強い森林をつくるため、間伐等を実施しました。



災害に強い
山になったね。





紀の国森林環境保全林整備

●環境林の整備(間伐対策) 2021(令和3)年度にて終了

和歌山県の森林面積は約36万ha、そのうち国有林を除いた民有林の面積は約34万haで、人工林が約6割を占めています。しかし、木材価格の低迷等により、経営を放棄された人工林が増加し、森林の荒廃が大きな問題となっています。このようなことから、手入れの行き届いていない森林の間伐を実施しました。



景観も
良くなったね。



●環境林の整備(流木対策) 2021(令和3)年度にて終了

自然災害などにより河道を閉鎖したり、流出する恐れがある倒木を整理し、2次災害を防止する流木対策を実施しました。



川の災害を
防げたね。



森林公的管理の実績

年度	箇 所	市町村	購入者	面積
平成21年度	大塔山周辺の森林	古座川町	古座川町	約 404ha
平成23年度	小森川周辺の森林	古座川町	古座川町	約 191ha
平成24年度	有田川周辺の森林	串本町	串本町	約 38ha
平成28年度	口和深周辺の森林	すさみ町	すさみ町	約 3ha
平成29年度	護摩壇山周辺の森林	田辺市・有田川町	和歌山県	約 16ha
	松根周辺の森林	古座川町	古座川町	約 32ha
令和元年度	檜山周辺の森林	古座川町	和歌山県	約 335ha
令和2年度	中崎周辺の森林	古座川町	和歌山県	約 103ha
令和5年度	小森川周辺の山林	古座川町	和歌山県	約 56ha
合 計				約 1,178ha

わかやま森林と樹木の日 過去の開催

年度	開 催 地	
平成24年度	田辺市	新庄総合公園
平成25年度	和歌山市	四季の郷公園
平成26年度	日高川町	かわべ天文公園
平成27年度	岩出市	緑花センター
平成28年度	北山村	おくとろ公園
平成29年度	かつらぎ町	花園新子森林公園
平成30年度	和歌山市	瀬戸内海国立公園
令和元年度	白浜町	平草原公園
令和2,3年度	新型コロナウイルス感染症のため中止	
令和4年度	美浜町	煙樹海岸
令和5年度	有田川町	手水池の畔
令和6年度	紀の川市	ハイランドパーク粉河

公募事業の実績

	平成19年度～平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合 計
実施件数	434件	17件	9件	9件	10件	8件	487件
補助額(千円)	631,124千円	10,950千円	5,334千円	5,524千円	8,644千円	7,611千円	669,187千円
参加者数	77,975人	3,986人	1,417人	1,675人	2,871人	3,811人	91,735人

竹林対策の実績

実施箇所	平成24年度～平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合 計
海 草 振 興 局 管 内	11.81ha	1.30ha	0.62ha	0.46ha	1.66ha	1.71ha	17.56ha
伊 都 振 興 局 管 内	13.06ha	2.20ha	0.93ha	0.99ha	1.85ha	3.08ha	22.11ha
有 田 振 興 局 管 内	—	—	—	—	—	0.10ha	0.10ha
日 高 振 興 局 管 内	3.37ha	0.69ha	0.71ha	0.29ha	0.35ha	0.25ha	5.66ha
西牟婁振興局管内	0.60ha	0.15ha	—	—	—	—	0.75ha
合 計	28.84ha	4.34ha	2.26ha	1.74ha	3.86ha	5.14ha	46.18ha

紀の国緑育推進の実績

市町村	平成19年度～平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		合 計	
	実施校数	参加児童数	実施校数	参加児童数	実施校数	参加児童数	実施校数	参加児童数	実施校数	参加児童数	実施校数	参加児童数	実施校数	参加児童数
和歌山市	277校	17,685人	44校	2,430人	42校	2,355人	46校	2,548人	47校	2,589人	48校	2,622人	504校	30,229人
海南市	1校	38人											1校	38人
紀美野町	14校	558人	1校	34人	1校	26人	2校	49人	1校	30人	1校	39人	20校	736人
紀の川市	68校	2,183人	6校	97人	2校	50人	6校	184人	6校	168人	6校	178人	94校	2,860人
岩出市	60校	5,953人	6校	504人	6校	487人	6校	530人	6校	491人	6校	483人	90校	8,448人
橋本市	44校	2,268人	10校	511人	12校	546人	10校	469人	12校	538人	13校	447人	101校	4,779人
かつらぎ町	43校	1,130人	4校	117人	4校	117人	5校	113人	4校	123人	4校	125人	64校	1,725人
九度山町	25校	459人	2校	69人			1校	54人	1校	23人	1校	16人	30校	621人
高野町	11校	411人	1校	57人	1校	71人	1校	67人	1校	96人	1校	77人	16校	779人
有田市	50校	2,755人	6校	206人	7校	203人	6校	213人	6校	227人	6校	214人	81校	3,818人
湯浅町	36校	1,110人	3校	28人	3校	19人	3校	25人	3校	25人	4校	80人	52校	1,287人
広川町	14校	374人											14校	374人
有田川町	45校	1,039人	5校	104人	5校	112人	5校	79人	5校	65人	3校	50人	68校	1,449人
御坊市	11校	440人	2校	78人	1校	49人	1校	63人	1校	48人	1校	73人	17校	751人
美浜町	11校	425人	2校	71人	2校	87人	1校	42人	1校	45人	1校	33人	18校	703人
日高町							1校	49人	1校	49人	1校	53人	3校	151人
由良町	21校	578人	3校	70人			3校	57人	3校	54人	1校	33人	31校	792人
印南町	15校	338人	3校	112人	3校	95人	3校	86人	5校	128人	5校	133人	34校	892人
みなべ町	24校	1,117人	2校	80人	1校	16人	3校	73人	4校	96人	4校	136人	38校	1,518人
日高川町	41校	737人	6校	89人	5校	70人	5校	77人	5校	71人	6校	76人	68校	1,120人
田辺市	87校	2,465人	11校	307人	10校	171人	10校	205人	12校	231人	12校	288人	142校	3,667人
白浜町	21校	628人	2校	72人	2校	67人	1校	13人	1校	14人	1校	17人	28校	811人
上富田町	22校	864人	2校	59人	2校	55人	2校	53人	1校	37人	1校	30人	30校	1,098人
すさみ町	1校	14人											1校	14人
新宮市	7校	149人	2校	66人	2校	58人	3校	97人	2校	48人	2校	68人	18校	486人
古座川町							1校	10人	1校	10人	1校	16人	3校	36人
串本町	47校	757人	4校	43人	3校	34人	6校	62人	4校	63人	5校	58人	69校	1,017人
合 計	996校	44,475人	127校	5,204人	114校	4,688人	131校	5,218人	133校	5,269人	134校	5,345人	1,635校	70,199人

人工林の広葉樹林化の実績

実施箇所	令和4年度	令和5年度	合 計
海 草 振 興 局 管 内	0.27ha	0.14ha	0.41ha
那 賀 振 興 局 管 内		0.82ha	0.82ha
伊 都 振 興 局 管 内	0.90ha	0.68ha	1.58ha
有 田 振 興 局 管 内	1.77ha	4.49ha	6.26ha
日 高 振 興 局 管 内	0.18ha	0.74ha	0.92ha
西牟婁振興局管内	16.03ha	20.81ha	36.84ha
東牟婁振興局管内	10.45ha	12.22ha	22.67ha
合 計	29.60 m	39.90 m	69.50 m

木の良さPRの実績

実施箇所	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
西牟婁振興局管内	246m	238m	368m	852m

紀州材公共施設木造木質化モデルの実績

市町村	令和4年度	令和5年度	合 計
海南市		11.40m	11.40m
高野町	145.500m		145.50m
有田市	5.200m	5.60m	10.80m
広川町	42.300m	237.20m	279.50m
御坊市		13.70m	13.70m
太地町		8.10m	8.10m
北山村		1.0m	1.00m
串本町	144.60m	13.3m	157.90m
合 計	337.60m	290.30m	627.90m

数値は紀州材使用量を示しています。

健全な里山づくりの実績

実施箇所	平成25年度～平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合 計
海 草 振 興 局 管 内	117.36㎡	59.59㎡	52.85㎡	64.64㎡	28.87㎡	12.72㎡	336.03㎡
那 賀 振 興 局 管 内	3.27㎡	9.48㎡		10.54㎡	24.80㎡	3.73㎡	51.82㎡
伊 都 振 興 局 管 内	115.50㎡		9.77㎡	41.47㎡	81.88㎡	46.33㎡	294.95㎡
有 田 振 興 局 管 内	72.59㎡	52.00㎡	140.64 ㎡	68.29㎡	45.52㎡	18.84㎡	397.88㎡
日 高 振 興 局 管 内	1053.41㎡	88.50㎡					1141.91㎡
西牟婁振興局管内	328.13㎡	18.09㎡	2.27㎡				348.49㎡
東牟婁振興局管内	50.00㎡				29.96㎡		79.96㎡
合 計	1740.26㎡	227.66㎡	205.53㎡	184.94㎡	211.03㎡	81.62㎡	2651.04㎡

上記のほか、粘着シートの設置、樹幹注入を行っています。

市町村民の森の実績

市町村	平成21年度～平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合 計
和歌山市	20.85ha	0.30ha	0.30ha	0.23ha	0.19ha	0.23ha	22.10ha
海南市	1.60ha						1.60ha
紀美野町	0.60ha						0.60ha
紀の川市	1.50ha	0.30ha	0.30ha	0.30ha	0.30ha		2.70ha
岩出市	0.56ha						0.56ha
橋本市	14.92ha	1.50ha	1.50ha	1.50ha	1.50ha	1.50ha	22.42ha
かつらぎ町	0.66ha						0.66ha
九度山町	13.34ha				0.42ha	0.42ha	14.18ha
高野町	0.50ha						0.50ha
有田市	0.06ha				0.02ha		0.08ha
湯浅町	0.07ha						0.07ha
広川町	0.64ha						0.64ha
有田川町	1.26ha						1.26ha
御坊市	0.12ha						0.12ha
美浜町	88.19ha	24.62ha	24.36ha	24.10ha	24.38ha	24.54ha	210.19ha
日高町	3.50ha						3.50ha
由良町	0.26ha						0.26ha
印南町	3.52ha	0.64ha	0.64ha	0.94ha	0.84ha	1.83ha	8.41ha
みなべ町	0.29ha						0.29ha
日高川町	1.30ha		1.16ha	5.84ha	1.61ha	0.84ha	10.75ha
田辺市	2.79ha	遊歩道の整備	0.33ha	0.07ha	0.81ha		4.00ha
白浜町	3.00ha						3.00ha
上富田町	12.91ha	3.22ha	3.22ha	3.22ha	3.22ha	1.97ha	27.76ha
すさみ町	2.00ha						2.00ha
新宮市	0.70ha						0.70ha
那智勝浦町	0.78ha						0.78ha
太地町	0.11ha						0.11ha
古座川町	6.70ha						6.70ha
北山村	1.20ha						1.20ha
串本町	0.30ha						0.30ha
合 計	184.23ha	30.58ha	31.81ha	36.20ha	33.29ha	31.33ha	347.44ha